当日のご案内

①競技大会

※大会当日、「IDカード」、「ゼッケン」、「大会統一帯」を忘れた方は出場できませんのでご注意ください。

➢ ゼッケンは予め空手着に縫い付けてください（安全ピン不可）。
※演武中にゼッケンが外れ落ちると減点になります。

➢空手着を洗う際にはゼッケンを外してください。
※ゼッケンが傷んだり空手着にインクが付く恐れがあります。

➢ 大会当日は、IDカードをご持参の上、会場内の受付デスクで受付を行ってください。

➢ 選手は、試合開始1時間前までには受付を終了するようにしてください。
（第1試合のみ試合開始45分前までには受付を終了するようにしてください。）

➢ 選手は、IDカード裏面にある「型申告書」に演武する型名を予め記載し、試合開始前に係員に提出してください。

➢ 選手は、自身の演武直前まで、空手着の上から防寒着等の使用を認めます。
※道場内への飲食物の持ち込みは禁止です。

➢ 監督は、競技場内での写真および動画の撮影を禁止します。

②留意事項

➢ 選手、監督の服装、武具の仕様については、競技規程をご確認ください。

【競技規程（※抜粋）】

第2条　競技者、監督、審判員は、次の各号に定められた服装を着用しなければならない。

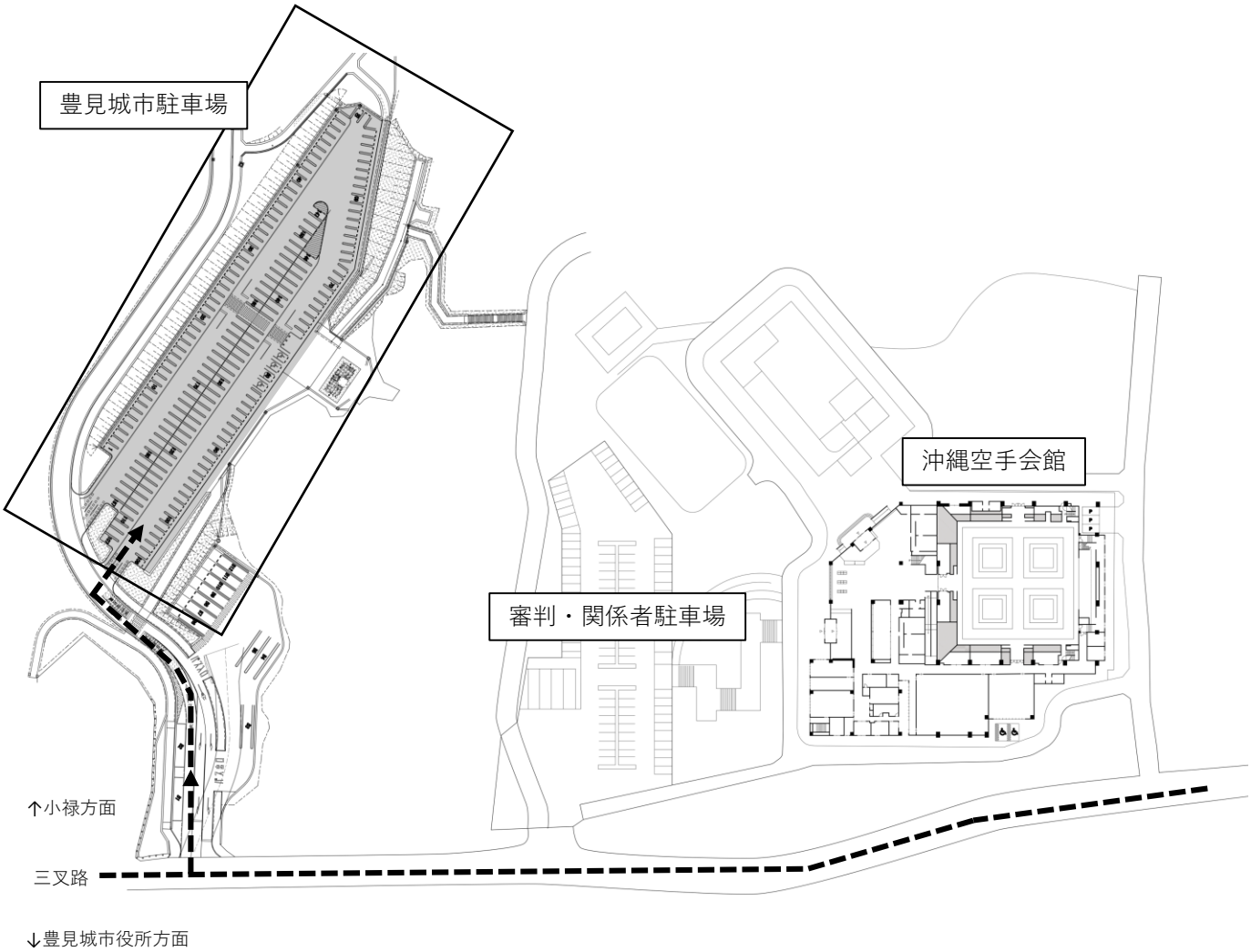
⑴　競技者は、白で無地の空手着を着用するものとする。ただし、古武道の競技者は、黒又は茶の空手着も認めるものとする。なお、袴の着用は認めない。
⑵　空手着の左胸に限り、流派・会派章、国旗（沖縄県の県章を除く。）、自国の紋章を付けることができ、それ以外の部分には一切の文字、紋章、ラベル等は付けてはならない。ただし、既に空手着に加工されているメーカーの商標ラベルや本人の氏名はその限りでない。
⑶　空手着の背面には、沖縄空手世界大会実行委員会（以下「実行委員会」という。）が交付するゼッケンを付けなければならない。
⑷　男子は、空手着の下にＴシャツ等を着用することはできない。女子は、白無地又は空手着の上着と同色で無地のＴシャツ又はインナー（例：タンクトップ、スポーツブラ等）を着用しなければならない。
⑸　上着の長さは、ウエストで帯を締めたときで腿の中ほどまでのものとする。
⑹　上着の袖の長さは、最長で手首までとし、肘から手首の間の中ほどより短くしてはならない。また、袖を表側に折り曲げたりしてはならない。折り曲げる場合は、裏側に折り縫い付けるものとする。
⑺　ズボンの長さは、少なくとも脛の３分の２を覆うほどの長さとし、最長でもくるぶしは隠れてはならない。裾を表側に折り曲げたりしてはならない。折り曲げる場合は、裏側に折り縫い付けるものとする。
⑻　帯は実行委員会が配付する青色の統一帯とする。なお、トーナメント制の競技においては、実行委員会が準備した赤又は白の紐を胴部に巻き標識とする。
⑼　眼鏡をかける場合は、落下しないよう処置しなければならない。
⑽　アクセサリー（鉢巻き、ヘアークリップ、ミサンガ、ピアス等）は身につけてはならない。ただし、髪を結ぶための黒色または茶色のゴムは認める。
⑾　負傷による包帯、留め金等は、医師の診断があり、かつ、実行委員会の許可を得た場合でなければ身につけることはできない。
⑿　監督は、競技の間、空手着を着用し、腕章をしなければならない。
⒀　審判員は、黒の室内靴及び靴下、グレー系のズボン、実行委員会が指定した上着を着用する。

2　前項までの規定に従わない者は、出場資格を剥奪されることがある。

第9条　古武道（棒）の部において、少年少女Ⅱ及び少年少女Ⅲで使用する棒は、材質は木類（竹を除く）、形は丸形とし、長さは身長より10㎝以上又は180㎝以上、重さは制限がないものとする。少年Ⅰ及び少女Ⅰで使用する棒は、材質はカシやコクタン等の硬木類、形は丸形とし、長さは身長より10㎝以上又は180㎝以上、重さは750ｇ以上とする。

(2)　棒は、滑止めのための彫込みや重心移動のための鉄芯の埋込み等、いかなる細工も認めない。

駐車場のご案内



・選手、監督、一般来場者は豊見城市駐車場をご利用ください。
　※選手は、試合開始1時間前までには受付を終了するようにしてください。
　（第1試合のみ試合開始45分前までには受付を終了するようにしてください。）

・空手会館の駐車場は審判・関係者用の駐車場となり、停める事はできません。

・駐車場には限りがありますので、できる限り公共交通機関をご利用ください。

・貴重品及び靴の管理、ゴミの片づけ等は各自でお願いいたします。

・駐車場でのトラブルについては、一切責任を負いかねますのでご了承下さい。